

総務産業常任委員会

令和2年8月7日
委員会室

1 開 会

2 協議事項

- (1) 市有地に係る申入れについて

- (2) 令和元年度事務事業評価について
 - ア 結婚活動支援事業
 - イ 観光協会補助事業

- (3) 所管事務調査（空き家対策）について

- (4) その他

対 照 表

| 事 務 局 案 | 現 行 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: right;">あ ～ 0 6 0 令和 2 年 ● 月 ● 日</p> <p>西脇市長 片 山 象 三 様</p> <p style="text-align: center;">総務産業常任委員会 委員長 林 晴 信</p> <p>市有土地早期売却に関する申入れについて</p> <p>西脇市が保有する普通財産である土地のうち、利用計画がないものについては、早期売却を求めます。</p> <p>売却による売却代金収入に加え、固定資産税の課税客体として税収増につながることから、下記事項に十分留意の上、売却されるよう申し入れます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 時価による売却予定額と希望買受額との間に大きな乖離がある場合は、周辺地価への影響を十分考慮しつつ、可能な範囲において弾力的な運用を行い、売却を優先させること。</p> <p>2 特に一定規模以上の面積の土地を売却する場合は、各種法令、市が定める指針及びガイドラインの遵守を条件とするほか、売買契約において特約条件を設けるなど周辺住民にとって迷惑とならぬよう配慮すること。</p> | <p style="text-align: center;">申し入れ書</p> <p style="text-align: right;">総務産業常任委員会</p> <p style="text-align: center;">市有土地早期売却について</p> <p>西脇市が保有する普通財産市有土地のうち、利用目的が定まっていないものについて、早期売却を求める。</p> <p>売却のメリットとしては土地売却代金収入に加え、固定資産税収入増が挙げられる。</p> <p>しかし、委員会では、売却額が評価額と乖離があった場合の土地下落誘引への懸念、売却後に周辺住民にとって迷惑施設建設を懸念する意見もあったので、下記事項には十分注意の上、売却を進めていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 利用計画の無い市有土地の早期売却を求める。入札が基本となるが、希望購入額との乖離があった場合は相談に応じる等、売却を優先させること。</p> <p>2. 市有土地の売却が周辺土地価額下落の誘因とならぬよう配慮すること。</p> <p>3. 一定規模以上の面積の土地を売却する場合は、売買契約における特約の条件をつける等、周辺住民にとって迷惑施設建設とならぬよう配慮すること</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |

令和元年度 事務事業評価報告書

令和2年8月

総務産業常任委員会

結婚活動支援事業事務事業評価報告書

総務産業常任委員会

| 事業評価（5段階評価） | | | | | |
|-------------|----|------------------------------|--------------|--------------|---|
| 項目 | 評価 | 評価内容 | | | |
| | | 理由（該当する項目を三段階で評価） | | | |
| | | （○）良好・すべき | （△）どちらともいえない | （×）不良・すべきでない | |
| 妥当性 | 4 | ア) 社会情勢からみて実施すべきか | ✓ | | |
| | | イ) 一定の成果が上がっているか、引続き継続すべきか | ✓ | | |
| | | ウ) 行政で行うべきか（税金を使うべきか） | ✓ | | |
| | | エ) 他事業とサービスが重なっていないか | ✓ | | |
| | | オ) 他自治体と比べサービスの対象、内容が適切か | | ✓ | |
| | | カ) 市民全員のためになっているか | | ✓ | |
| 有効性 | 3 | ア) 前年以前と比較し、事業効果は上がっているか | | | ✓ |
| | | イ) 事業目標が達成できているか | ✓ | | |
| | | ウ) 目標が達成可能な事業であるか | ✓ | | |
| | | エ) 目標が低く設定されていないか | | ✓ | |
| | | オ) 職員や外部からの人材活用が十分なされているか | | | |
| | | カ) 環境を保全する配慮がなされているか | | | |
| 効率性 | 4 | ア) コスト削減を考えたとき、実施方法は適切か | ✓ | | |
| | | イ) 提供するサービスの質を考えたとき、実施方法は適切か | | ✓ | |
| | | ウ) 地域、民間業者等に委託することが望ましくないか | | | |
| | | エ) 事業に投入された人員は適切か | ✓ | | |
| | | オ) 事業の合理化は図られているか | ✓ | | |
| | | カ) 受益者負担等は適切か | ✓ | | |
| 総合評価 | 4 | （事業評価に対する特記事項及び今後の方向性の理由） | | | |

| 今後の方向性 | | 拡充 | 評価指標 | |
|-------------------------------|---|---------------------------|------|-------|
| ※単年度事業以外はその理由を総合評価に対する特記事項に記載 | | 現状のまま継続すべき | 5 | 極めて高い |
| | ✓ | 見直しのうえ継続すべき | 4 | 高い |
| | | 事業単位を見直し （統廃合・縮小のうえ継続） | 3 | 普通 |
| | | | 2 | 低い |
| | | 廃止 | 1 | 極めて低い |

(事業概要)

令和元年度事業では、計2回の出会いのパーティを行う。

参加者は第15回(11月23日)が男性18名(市内13名)女性19名(同6名)でカップルが4組(22.2%)。

第16回(2月11日)が男性13名(市内13名)女性12名(同2名)でカップルが4組(33.3%)。

現在までに事業を経て結婚したのは3組で全て市外に在住。

令和元年度予算額は300,000円

(評価)

成果を「結婚」とみるか「出会い」とみるかで議論は分かれたが、討議の結果、委員会では成果を「出会い」とすることに決定し、それに基づき評価を行った。

概ね高評価であるが、有効性の前年度と比較し効果が上がっているかという点では疑問符がついた。

委員からは「出会い」の成果はあるものの、なかなか結婚に結びつかない現状に対する改善の必要性があるとの指摘も多かった。

事業の必要性はあるとの判断のもと、今後の方向性としては、「**見直しのうえ継続すべき**」とする。

(各委員の意見)

林委員長

- ・やはり結婚活動支援事業なので、成果は結婚だ。出会えて、それが成果というのであればもっと結婚の数は多いはず。
- ・効果が上がっていたら参加者はもっと多い。特に女性を集めるのに苦労されていると聞く。
- ・実際に参加した方に話を聞くと、西脇市内で行うと、知った人にも出会うし参加しづらい。そこで、もしカップルになって結婚すると、「そこで出会った」ということを言われるのが嫌という意識もあるようだ。だから3組の成婚カップルは全員市外に住んでいるのではないか。そのような感覚がある限り、西脇市でこの事業をやっても私は上手くいかないと思う。また知人の中には他地域での婚活イベントに参加して結婚し、西脇市内に住んでいる例もある。よって、廃止して、例えば県主催の同種イベントに参加費補助を出す方がいいと考える。

美土路副委員長

- ・成果は結婚と捉える。現在まで結婚が3組ということは成果が上がっていない。
- ・成婚が少ないのは社会構造がこのような状況で、晩婚化や未婚化が進むそういう時代背景にあると思う。長年やっているこの結婚活動支援事業のやり方自体は従来からずっと同じやり方でやっているのだから、もう既にやり方自体が陳腐化されているのかもしれないとも思う。手法自体を別のやり方に変更するなど、やり方を抜本的に変革する必要があるのでは

はないか。

吉井委員

- ・結婚は結果であって、とにかく出会いの場ができたということが、もうその時点で成果だ。
- ・30万円の事業費であるとか、参加者の負担金を考えると突拍子もない奇抜な企画を改めて考えるというようなことはなかなか難しいと思う。内容の多少の変更はあったとしても大きな変更というのはなかなか見込めないので、現状のまま粛々と続けてほしい。

村岡委員

- ・コンスタントに参加があることや、結婚にまで至っていないが、カップルまでは達しているというふうことで一定の成果はあると考える。
- ・この事業は必要である。ただ結婚に至っていないということで、内容をもう少し変えて、その後が続くような展開を考えるべき。その時のフィーリングでカップルになると思うので、その後にもう少しその人のことを知るような、理解できるような時間をつくるイベントをしたらどうか。

東野委員

- ・出会いの場づくりというのは今の社会情勢から考えて積極的にやるべき。ただ行政が主体的になってやるべきなのか、それとも民間で行うほうが成果は上がるのかである。
- ・最低限の予算でやられていると思う。継続するのに予算的にはそんなに無駄な予算ではない。
- ・社会情勢から考えた必要な事業だという認識だが、税金を投入し行政が主体的にやる事業なのだろうかとは現在でも少し疑問に思っている。
- ・様々な工夫をして、出会いそのものをたくさんつくっていく場の設定ということをしてもらいたい。出会いを求めている若者はたくさんいるが出会いがない。実際に行動に移せない若い人も多いので、そういう場をぜひつくってもらいたい。

岡崎委員

- ・イベントでカップルになれば成果と考える。
- ・晩婚化、未婚の方が多いということで、参加者の変化が見られないということがあったので、参加者を増やす工夫というのか、単身者の参加よりもグループ参加とかいろいろと企画を変更してみてはどうか。

中川委員

- ・行政の主催というのは安心感があって、市外からの女性も来やすいのがメリット。
- ・民間事業者に比べ、安価な参加費で開催しているというのも魅力の一つ。
- ・同じ目的で人が集まるのだから、最初のカップリングは好調。ただその後、結婚まで至っていないことに課題がある。イベント後のやり方に工夫が必要。

令和元年度 事務事業評価報告書

令和2年8月

総務産業常任委員会

西脇市観光協会補助金事務事業評価報告書

総務産業常任委員会

| | | | |
|---------|-------------------------|-----|--|
| 評価対象事業名 | 西脇市観光協会補助金（観光振興事業の一部） | | |
| 所管常任委員会 | 総務産業常任委員会 | 評価者 | |
| 基本政策 | 地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち | | |
| 政策 | 観光・交流を振興する | | |
| 施策 | 地域資源を生かした観光交流を進めます | | |

事業評価（５段階評価）

| 項目 | 評価 | 評価内容 | | | |
|-----|----|------------------------------|---------------|---------------|---|
| | | 理由（該当する項目を三段階で評価） | | | |
| | | (○) 良好・すべき | (△) どちらともいえない | (×) 不良・すべきでない | |
| 妥当性 | 5 | ア) 社会情勢からみて実施すべきか | ○ | △ | × |
| | | イ) 一定の成果が上がっているか、引続き継続すべきか | ○ | △ | × |
| | | ウ) 行政で行うべきか（税金を使うべきか） | ○ | △ | × |
| | | エ) 他事業とサービスが重なっていないか | ○ | △ | × |
| | | オ) 他自治体と比べサービスの対象、内容が適切か | △ | △ | × |
| | | カ) 市民全員のためになっているか | ○ | △ | × |
| 有効性 | 3 | ア) 前年以前と比較し、事業効果は上がっているか | ○ | △ | × |
| | | イ) 事業目標が達成できているか | ○ | △ | × |
| | | ウ) 目標が達成可能な事業であるか | ○ | △ | × |
| | | エ) 目標が低く設定されていないか | △ | △ | × |
| | | オ) 職員や外部からの人材活用が十分なされているか | △ | △ | × |
| | | カ) 環境を保全する配慮がなされているか | △ | △ | × |
| 効率性 | 4 | ア) コスト削減を考えたとき、実施方法は適切か | ○ | △ | × |
| | | イ) 提供するサービスの質を考えたとき、実施方法は適切か | ○ | △ | × |
| | | ウ) 地域、民間業者等に委託することが望ましくないか | △ | △ | × |
| | | エ) 事業に投入された人員は適切か | ○ | △ | × |
| | | オ) 事業の合理化は図られているか | ○ | △ | × |
| | | カ) 受益者負担等は適切か | △ | △ | × |

| | | |
|------|---|---------------------------|
| 総合評価 | 4 | (事業評価に対する特記事項及び今後の方向性の理由) |
|------|---|---------------------------|

| 今後の方向性 | 拡充 | 評価指標 |
|-------------------------------|---------------------------|---------|
| ※単年度事業以外はその理由を総合評価に対する特記事項に記載 | 現状のまま継続すべき | 5 極めて高い |
| | ✓ 見直しのうえ継続すべき | 4 高い |
| | 事業単位を見直し (統廃合・縮小のうえ継続) | 3 普通 |
| | 廃止 | 2 低い |
| | | 1 極めて低い |

(事業概要)

別紙添付

(評価)

概ね高評価だが、委員からは補助金額が少ないのではないかとの指摘もあった。北播各市の観光協会への補助金額（委託料含む）を調べてみると、

| | |
|------------------|-----------|
| 加東市 観光協会補助金 | 28,170 千円 |
| 加西市 観光事業委託料 | 34,165 千円 |
| 多可町 多可町観光交流協会補助金 | 3,000 千円 |
| 小野市 観光協会補助金 | 8,000 千円 |
| 三木市 観光協会事業（委託料） | 14,700 千円 |

確かに、多可町と同額で、市の中では一番少ないことがわかる。

委員の一部には観光事業に税金を投入することを疑問視する声もあったが、概ね実施すべき事業であるとの意見であった。

また委員の中から、市の内部に設置するのではなく、他市にみられるように外部に設置すべきとの声もあったが、経費の増大も考えられるので、将来への検討事項とした。

今後の方向性については「見直しのうえ継続すべき」という評価にしたが、これは限りなく「拡充」に近い意味であることを付記する。

(各委員の意見)

林委員長

- ・住民割で各自治会から会費を徴収しているが、その割には観光協会が市民には見えていない。観光協会があつてよかったと言われているかというところではないだろう。市民にも見えにくい存在。
- ・観光協会が市役所の内部にあるので観光協会自体は市民に見えていない。市がやっているというイメージでしか捉えられていないのではないかと思う。だから、もっと観光協会はそのプレゼンスを大きく発揮してもらいたい。
- ・観光事業は非常に大事だが、市民には見えない部分も多い。市内にお金を落としてくれる観光事業もあるし、交流人口や関係人口を生み出す切り口としての観光もある。いずれにせよ、商工観光課だけでなく、農林やまちづくり課、場合によっては医療ツーリズムとしての健康課や西脇病院との連携も必要になってくるかもしれない。もちろん、事業者や市民を巻き込んでのさらなる活性化を期待したい。

美土路副委員長

- ・補助金は年間 300万円、金額が抑えられていると思うので、今のやり方では妥当。この低額な予算で西脇独自の工夫をしながら今のところよく頑張っている。しかし、観光協会の問題は補助金額自体にあるのではなく、運営の仕方自体に問題があるのかなとも思う。また、これからの西脇市の観光という大きな視点で考えるべきとも思うので、補助金額の

増額等は運営方法を変える場合検討しないといけないと思う。

吉井委員

- ・いろいろな事業自体が被っているような気がする。例えば観光協会はこのものを主にやっているが、また一方では、例えば苺のパフレットをつくったけれど、ほかの事業でそのパンフレットを有効に使うとかいうようなことが余りないように思う。そういうもっと大きな観光振興事業を全体としての方向づけをしてやっていくほうが良い。サービスがどうも全体の市の方針として一貫していない気がする。
- ・多彩な事業が行われているが、近隣他市に比べ事業費が少額であり十分な活動が行えていない。結果、市民の認知度が低い。観光振興事業全体としての重点目標を定めて、それぞれの事業（団体）が、その役割を分担する取り組みが必要ではないか。

村岡委員

- ・他の自治体の補助金に比べて明らかに少なく、やりたいことができないのではないかとと思う。そのためPR活動に特化してしまっているような印象を持つ。
- ・補助金が少ないので補助金を上げるべき。そして民間委託も考慮に入れた上で見直しを検討すべき。

東野委員

- ・観光行政なり、観光協会の取組という形でいうと、まだまだ足りないものがたくさんあるが、西脇市の今の観光全体を見てどうなのかというところと一定やむを得ない側面があると思う。
- ・補助金 300 万円がどうかという観点でいえば、西脇市の現状を考えるとやむを得ない。さらに観光が活発に行われるように見直しが必要だろうと判断する。
- ・観光協会は、本来、民間の事業者により組織され、民間主導で運営され、その活動に市行政が補助するというスタイルをとるべきだと考える。ただ、西脇市の現状を考えると、やむを得ない側面もあると考える。将来的には、観光協会事務局は、市行政から外部に移行すべきだと考える。

岡崎委員

- ・パンフレットなどでPR活動することはいい事だと思うが、若者など注目してもらえるような旬の食材などの情報をホームページやチラシを使って発信してもいいかと思う。

中川委員

- ・税金を使って観光事業を行うことはどうかとも思う。
- ・主になって事業を展開できる組織が専門化しており、横の調整や住民（イベント参加者）との意思疎通が弱くなっている。役所内だけでも商工観光課、農林振興課、まちづくり課他、各課においてそれぞれに違った特産を抱えている、これらを総合して事業化していくのが観光協会の本来の仕事ではないか。

【令和元年度】

【収入】

| 年度 | | 金額(円) | 備考 |
|------|-------|-----------|---------------|
| 補助金 | 西脇市 | 3,000,000 | |
| | 兵庫県 | 929,000 | 観光資源魅力アップ事業 |
| | その他 | 219,804 | 鉄道利用促進協議会等補助金 |
| 委託料 | | 0 | |
| 負担金 | | 0 | |
| 会費 | 個人 | 243,000 | 1,000円×243 |
| | 個人事業主 | 144,000 | 3,000円×48 |
| | 法人 | 210,000 | 5,000円×42 |
| | 世帯 | 1,413,900 | 100円×14,139 |
| 事業収入 | | 346,816 | バスツアー、物品売上等 |
| 雑入 | | 11,518 | 庁内販売等 |
| 繰越金 | | 914,257 | 前年度繰越金 |
| 合計 | | 7,432,295 | |

(参考)観光パンフレット類の発行

| | |
|----|-------------------|
| 新規 | にしわきごはん第4版(1.5万部) |
| 新規 | にしわきいちごづくし(1万部) |
| 更新 | 日本のへそ(3千部) |
| 増刷 | 播州ラーメン(3千部) |
| 増刷 | 登山マップ(坂本城址、1千部) |
| 増刷 | のぼってみよう北はりま(5千部) |

【支出】

| 項目 | | 金額(円) | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業費 | 資源創出・活用事業 | 1,343,174 | ・あじさい園整備事業 ・六所神社フジ再生事業 ・観光案内看板設置 (八幡神社・大津神社ほか) |
| | PR事業 | 3,411,262 | ・観光パンフレット類の発行 ・にしわきごはんスタンプラリー ・JRふれあいハイキング ・HP更新 ・雑誌等広告記事掲載 ・ほたるバスツアー受入事業 ・観光案内委託 |
| | 協賛・後援事業 | 996,491 | ・へその西脇・織物まつり協賛 ・黒田庄夏まつりの後援 ・子午線マラソン大会後援 ・西脇多可高校新人駅伝後援 ・地域活性化まつり後援 ・日本のへそハロウィーン後援 |
| | 広域連携事業 | 315,904 | ・定住自立圏周遊バスツアー ・神戸元町バル出展 ・旅行会社への合同訪問セールス |
| | 会員対象事業 | 54,000 | ・個人会員特典購入費 |
| | 負担金 | 115,000 | ひょうごツーリズム協会負担金 |
| | 会議費 | 65,753 | 総会・理事会開催経費 |
| 事務費 | 184,078 | 郵便料、振込手数料ほか | |
| その他 | 0 | | |
| 合計 | 6,485,662 | | |
| 収支差額(次年度繰越金) | 946,633 | | |